

経営学

問 1

本問は、意思決定バイアスに関する理論的理解と応用力を測ることを目的としています。特にプロスペクト理論の基本概念、エスカレーション・オブ・コミットメントとの関連性、そして実務での対応策について、段階的に理解度を確認します。(1)ではプロスペクト理論の基本的理解、(2)では理論を応用してエスカレーション・オブ・コミットメントを説明する能力、(3)では実践的な対策を考案する応用力を問うています。これにより、理論の理解から実践への橋渡しができる思考力を評価します。

問 2

本問は、マーケティングの基礎的知識と概念の正確な理解および説明能力を測ることを意図しています。(1)ではアンゾフの成長マトリックスという戦略フレームワークの構造と各戦略の位置づけを理解し、簡潔に説明できるかを確認します。(2)では製品の3つのレベル（中核部分・実態部分・付随部分）について具体例を用いて説明する能力を問い、マーケティングの基本概念を実際の製品に適用して分析できるかを評価します。

経済学

問 1

本問は、ミクロ経済学における消費者理論の理解度と、その数理的・論理的分析能力を測ることを意図しています。価格変化に対する消費者の最適化行動の変化を理解し、それを代替効果と所得効果に分解して経済学的に解釈する能力を問うています。理論的枠組みの正確な理解に加え、経済現象を数理モデルによって単純化し分析する能力、そして分析結果を経済学的に意味づける解釈力も評価の対象となります。

問 2

本問は、マクロ経済学における政策目標間のトレードオフ、特に「失業率の抑制」と「インフレの抑制」の関係についての理解と応用力を測ることを意図しています。経済政策や外生的ショックが失業率とインフレにどのような影響を与えるかを分析する能力を通じて、マクロ経済学の基本概念の理解度とその実際の経済状況への応用力を評価します。理論的知識を用いて現実の経済政策の効果を予測・分析できる思考力を問うています。

法学

問 1

本問は、法律と条例の関係性に関する基本原則と判例の理解、およびデジタル化という現代的文脈における法制度の変容について論じる能力を測ることを意図しています。法体系における法律と条例の位置づけを踏まえ、判例で確立された原則を理解した上で、技術革新に伴う法改正が従来の法と条例の関係にどのような影響を与えているかを分析する力を問うています。法的原則の理解と現代的課題への適用能力の双方を評価します。

問 2

本問は、デジタル時代における新たな法的課題であるプロファイリング規制について、法的規制と自主規制の関係性、国内法制と国際的動向の比較、そして解釈上の課題を多角的に分析する能力を測ることを意図しています。関連法規の理解に加え、判例の適用可能性や今後の法的課題を予測する力を問うことで、法学的思考の応用力と、新しい法的問題に対する体系的アプローチの能力を評価します。

政治学

問 1

本問は、政治学の中核概念である「民主主義」と「自由」の理解度と、それらを「放送の自由」という具体的文脈に適用する能力を測ることを意図しています。解答者には、民主主義と自由の定義、両者の歴史的・概念的関連性を論じることが求められます。また、民主主義や自由度を測定する実証的データセットへの言及ができるかどうかを通じて、政治学における理論と実証の両面からの理解度を評価します。近年重要性を増す放送メディアと民主主義の関係について、体系的に説明できる能力も問われています。

問 2

本問は、「民主化」と「経済発展」という政治学における重要テーマの因果関係について、双方向の仮説を立て、そのメカニズムを政治学的概念や理論に基づいて説明する能力を測ることを意図しています。単なる知識の再生ではなく、仮説構築能力や論理的思考力を評価するとともに、歴史的事例や統計的証拠を用いて主張を裏付ける実証的アプローチの力量も問うています。政治学における古典的かつ現代的な議論に対する理解と、それを応用して論理的に展開できる能力を総合的に評価します。